

発行者兼編集者
 鵜 戸 神 宮
 社 務 所
 印刷所
 西 日 本 印 刷

謹 賀 新 年

宮司 佐 師 朝 規



ごあいさつ

明けまして お目出
 度う御座居ます

昭和六十一年の新しい年を迎え神垣ふかく
 茜さす元朝の瑞雲に淑

氣いよいよ漲り、今上陛下御在位六十年に奉祝の誠を捧げ、大前に皇国の千代の栄と竹の園生の弥栄を祈りつつ、皆様の御健康と御多幸を心から御慶び申し上げますと共に、旧年中神宮へ寄せられました御理解と御協力を厚く御礼申し上げます。

本年も当神宮の発展と氏子崇敬者皆様方の為に、宮司以下職員一同努力して行き度いと思しますので、御協力を重ねて御願ひ申し上げます。

新嘗祭

初冬とはいえ、暖かい小春日和の十一月二十三日、当宮に於て責任役員、氏子崇敬者をはじめ、各地区区長、敬神婦人会、官公衛代表等約百五十名が参列して、今年の新嘗祭は厳かに斎行されました。

新嘗祭は、宮中に於て天皇陛下御自らその年に収穫された新穀を、天神地祇にお供えしその御恩に感謝し、また親しくこれを聞食す神事であります。

当宮でも新穀を感謝し、日南市、北郷町等の地区民から数多くの献米、その他御神酒、御菓子等の奉納がありました。

又、祭典では、十年前から奉納している「こどもかぐら」が今年も賑やかに奉納された。

尚、献納者、こどもかぐら奉仕者は次の通りであります。

◎献米奉納者
日南市大浦地区、殿所地区、

益安地区、乙東地区、甲東地区、松永地区、平山地区、北郷町中央地区、倉迫地区、内之田地区、伊十川地区、坂元地区、押川真須子
◎献備品奉納者
フンドーキン醬油日南営業所、マルタニ醬油販売所、



こどもかぐら奉納

玉串について

権林宜 永友 謙二

神道儀礼作法の一特色として玉串奉奠がある。神道辞典において奉幣は、皇室・国家・公共より供進の公の幣物であるのに対して、玉串は、各自の私の供献物である。玉串の語義については、(一)玉を著けたる木竹をいう(真淵説)。(二)手向串(宣長説)。(三)御霊の宿りたまう料(六人部是香説)。四タマは魂のことで、神のみたまと自分の魂とをつなぐ串(千家尊宣説)などの諸説がある。現在神社本庁では、「玉串は神に敬意を表し、且つ神威を受けるために捧げるものである」としている。神主なら誰でも知っていて当り前の事でありますが、氏子・崇敬者の方々はどれだけ関心を持って玉串を捧げているだろうか、再確認の意味でちょっと読んでもらいたいと思います。

玉串に使われる代表的な木は榊であります。この榊という字は、中国から来たものでなく、万葉集に榊樹と書いてサカキと読ませているように榊と木を合せ、榊という字が出来た国字の一つであります。榊が榊木とされたのは、古今和歌集に、「神垣のみむろの山の榊葉は神のみ前に茂り合ひにけり」また、拾遺和歌集には、「榊葉に木綿しでかけて誰が世にか神のみ前に祝ひそめけん」とあり、平安時代中期になります。

榊は栄える木、賢木の意味で、ツバキ科の常緑垂喬木をいいます。一年中葉が青々としている常磐木、しかしその葉も落ちない訳ではありません。私達の人生儀礼と同じ様に、子供が一人前の立派な大人になると親が死んでいく。榊の葉もまた、新しい葉が出て、立派になると古い葉は落ちて新しい次の世代へと引き継がれていく訳です。また、しめ縄や鳥居の意味である、神域を表す境界に植えた榊の意味もある。神社の原初的な姿の一つとして榊が植えてあります。



モロギとは神を宿し留める樹のことです。榊には昔よりその神のみしるしとして神がお宿りになる霊木として特別に扱われ、神社の境内には必ずと言っていいほど榊の木が植えてあ

ります。しかし榊も福島あたりが北限とされています。これがない東北地方では、杉・玉椿などが用いられ、南へ行くとはま榊・ガジュマロの常磐木が用いられます。

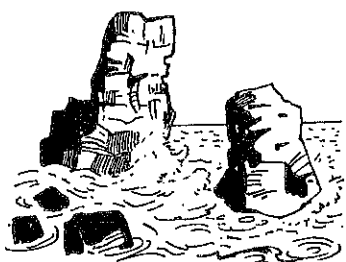
また玉串には、木綿・紙垂などが付いていますが、これらが意味するのは罪穢を洗い清浄を表わします。普通二枚重ねの四垂を用いますが、その神社によっていろいろとあり定まっています。同じ方向に折っていく吉田流と三垂目を裏返しにする白川流があります。紙垂の形を見ると稲妻の形に似ています。あの稲妻に霊を感じ、ゴロゴロピカッと光るのを見て、身がきゅっと引き締まった思いになった方はたくさんいると思います。あの音は罪穢を抜くものであり、稲作に大切な雨をもたらすものである。白い紙垂は潔白を表わすものです。そう言った意味で付いているのです。

玉串は玉籤とも書き、太玉串とも言います。玉は大切なもの、私達の最も大切なものは命です。命には魂があります。その命魂を玉串に託し神に捧げて誠心を披瀝するのです。神にだけでなく、英霊にも祖先にも自分自身の真心を込めて感謝し玉串を奉奠します。

最後に玉串の捧げ方ですが、

が、皇室では表面を神前に向け、玉串立てに立てて奉られ、伊勢神宮では玉串の本を自分の方にし、末を神前の方にし捧げます。私達が神社に行き供える時は、右手で枝の方を持ち、左手で葉の下を受け、葉先を少し高めに持ち神前に進み玉串案のところに来たら、右手で玉串の枝の方が神前に向うよう時計回り、「の」の字を描く様にし台の上に供えます。そして二拝二拍手一拝で拝礼します。

今度、氏神様、又はどこか神社で玉串を供えられる時は、ちょっと思い出して下さい。



現在の日本を思う

権祿宜 中武 信明

昭和十六年十二月四日、大東亜戦争に突入しました。そして、天皇陛下の「自分は如何になろうとも、万民の生命を助けたい。」との御聖断により、昭和二十年八月十五日、日本は降伏し戦争は終わりました。それから四十年、戦後生れの人々が日本の総人口の半数以上を占める様になりました。それだけ長い年月が過ぎたのです。私もそのうちの一人です。この四十年と言う年月は私にとっては、むしろ厚い壁と言った方がいい様に思われます。何故ならば戦後の日本は奇蹟的な経済復興を成し遂げ、今日の経済大国と言われる位置にまで成長しました。その当時の事を知るには、テレビ、新聞等の報道機関に頼るか、史料館等に足を運ぶか、苦

難の時代を乗り越えて来られた諸先輩方に聞くかしなければなりません。自らの範囲は限られてくると思いません。このような状況に於て、「平和」という事に對しても、戦争を体験して来られた人々と、何不自由なく生活して来た人々との間には、大きな隔たりがあるのではないのでしょうか。私等は「平和」という言葉を軽々しく使っています。現在の平和な日本があるのは国の為に殉じた尊い英霊の上にあるのだ、という事をつい忘れがちになっていると思えます。

又、戦後の経済復興は国民が努力して得たものですが、何故国民が力を出せたのでしょうか。終戦後、陛下は占領軍最高司令官マッカーサーを「おねになり」



私はどうなってもかまわない。が、国民を飢えから救って欲しい」と申し出られた事、又重く沈んでいる国民の心を励まし、元気づけ見舞ってあげたいとの御心により地方巡幸が始まりました。これでどれだけの国民が勇気づけられた事でしょう。まるで朝日の差し昇る思いがした事と思われま

次に八月十五日に行なわれた中曽根総理以下閣僚議員の公式参拝の件ですが、何故こんなに問題になるのでしょうか。国の為に殉じた人々の事を念頭に置けば

何の抗議も出ないはずですし、むしろ行なって当然だという意識になるはずですが、しかし結果はどうでしょうか。ある一部の団体、政界、マスコミは「憲法違反」とか「軍国主義への架け橋」だとか言いたい放題、書きたい放題です。ご存じの様

に靖国神社には、国の為に殉じた約二百四十万柱の尊い英霊がお祀りしてあります。前にも述べた様にこの尊い犠牲によって今日の日本があるのです。その英霊に對して感謝と尊敬の念で参拝する事に對して、身分や資格で制限するのはおかしいと思えます。確かに憲法二十条には「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」と明示してはいますが、これを憲法違反だと考える人は、目の前の事だけにとらわれすぎて頭でっかちになっていると思えます。今もう一度考えてみて下さい。国の為に殉じた英霊に對して国民が感謝の念を捧げる国は、アメリカを始め多くの国々にあり、当然日本にもあって良いはず

日南海岸国定公園指定 三十周年記念祈願祭を斎行

去る八月十九日、当宮に於て、日南海岸国定公園指定三十周年記念祈願祭が、盛大且つ厳肅に斎行された。同祈願祭は、宮崎市と県南二市二町の日南海岸沿線

議員が公式参拝を行なわなければ、これらの人々は英霊に對して批判的な意見を持っていると思わなければなりません。この度の参拝においてはそれは解消された訳です。又、違憲か合憲かという事に対しては、昭和五十二年の三重県津市の地鎮祭訴訟の最高裁の判決で、地鎮祭に津市が公費を支出した事は違憲ではないと判断した点から見ても公式参拝が憲法違反ではないのは当然だと思えます。

私達はこの公式参拝の持つ意義を明確なものにし、氏子はもとより一般の人々にも伝え国民の意識を高め、又、中曽根総理の奮起は当然の事ながら、閣僚の公式参拝が神道作法通り堂々と行われる様に、日々努めなければならぬと思えます。

そう言った時にこそ昭和十二年に連合軍占領下のもと、日本国憲法が施行されてより、失ないかけていた日本人の心を取り戻す事になるのではないのでしょうか。最後に防衛問題ですが、現在の世界状況を見ると大変不安定な状態にあり、あちこちで戦いが行われています。我国もいつ渦中に巻き込まれないとも限りません。いつまでもGNP一%にこだわらないで最低の防衛は維持していかなければならないと思えます。専守防衛、シビリアンコントロールは確立しているのですから防衛問題には国民全体で積極的に取り組んで行くべきではありませんか。皆様方はどう考えられるでしょうか。

の減少傾向がつづく観光地、日南海岸の再開発に積極的に取り組み願ひもこめて開催された。

祈願祭は、同日午前十一時から本殿に於て斎行され、神事に併せ浦安の舞も奉納された。引き続き儀式殿で



祈願祭で浦安の舞奉納

記念式典に移った。式典では、西北会長、当宮宮司があいさつ、来賓挨拶では、松形県知事、坂元親男参議員、増田吉郎県観光協

会会長等が祝辞をのべ、その後祝宴に移った。アトラクションでは、民謡「鵜戸さ

ん詣り」など数曲が佐伯薫風さんらの尺八で演奏された。又、海上では南郷、大堂津、油津、鵜戸各漁協から漁船三十数隻が、奉祝海上パレードを行い、お祝いに花を添えた。

日南海岸は、昭和三十一年六月一日付で全国で四番目の国定公園指定を受けた。宮崎市加江田から日南市、南郷町、串間市を経て鹿児島県志布志湾まで総延長九十六キロメートル、のうち砂浜は十六キロメートルだけ。残りは鬼の洗たく岩に代表される波状岩や奇岩がちな荒磯。この特異な海岸美とフェニックス等亜熱帯性植物が並ぶなど自然に恵まれた観光地で、南国ムードのロードパークとして注目されている。当初「新婚旅行のメッカ」として若いカップルが目立っていたが、現在では県の亜熱帯性ベルトパーク構想に取り組みむなど、これまでの「見る観光」から「する、ひたる観光」と脱皮を試みている。



全国都道府県
東京事務所々長

- 十月七日 佐世保市龜山八幡宮総代徳久祐一氏他参拝
- 十月十三日 医学博士三谷隼雄氏他参拝
- 十月十六日 福岡高等検察庁検事長臼井滋夫氏他参拝
- 十月十八日 五神宮職員会(於英彦山神宮)
- 十月二十日 那覇市議会議員参拝
- 十月二十二日 龜山神社宮



福岡高検検事長 臼井滋夫氏

- 十月三十日 東京電気大 学宮内氏他参拝
- 十月二十七日 日本青年会議所西会榑き たむら社長北村信雄氏参拝
- 十月二十七日 司吉良智信氏参拝

- 十一月三日 明治祭
- 十一月五日 水川神社宮司 田村顯雄氏他参拝
- 十一月二十三日 新嘗祭(五穀豊穰感謝祭)
- 十一月二十四日 北松浦郡 福島町今山神社



那覇市議会議員とミス沖縄

- 十一月二十五日 総代参拝 白山比売神社彌宜橋重道氏参拝
- 十一月二十六日 杉並区水川神社宮司山本雅道氏他参拝

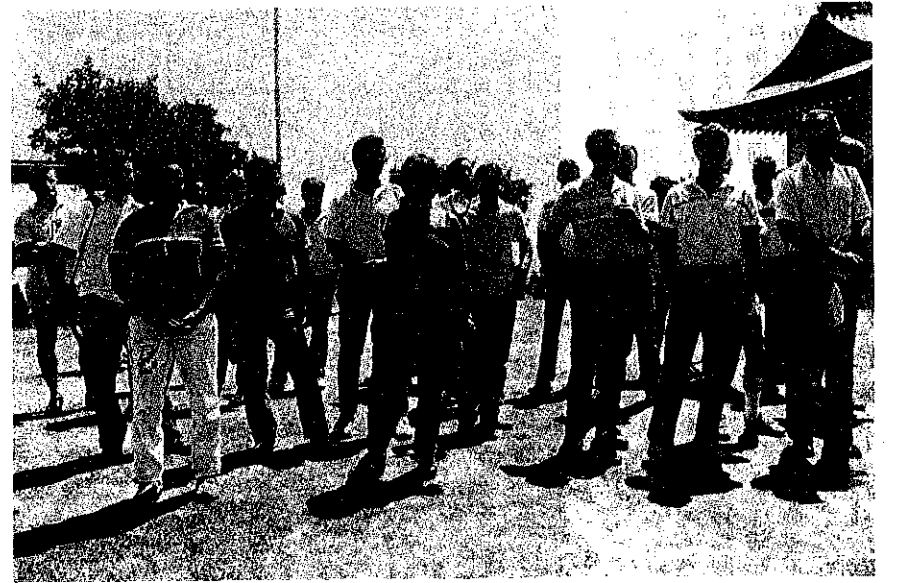
- 十二月五日 殿島神社権宮 司木谷昌光氏他 総代参拝
- 十二月二十七日 媒払祭
- 十二月三十一日 大抜式、除夜祭

社務日誌抄

- 七月十五日 責任役員会
- 七月十六日 五神宮宮司会(於英彦山神宮)
- 七月二十七日 児原稲荷神
- 八月四日 社氏子親子会約三十名参拝
- 佐藤権宮司退任 奉告祭(辞令八)



岡本選手と当宮の巫子さん



ラフな格好の米軍兵士

- 八月十九日 日南海岸国定公園指定三十周年記念祈願祭
- 八月二十日 県印章業協同組合理事長黒木重晴氏鵜戸神社 印章二個奉納
- 八月二十三日 全日本バスケット選手岡本選手参拝
- 八月二十五日 日米協同訓練前に米軍兵士百二十名参拝
- 京都あびす神社 宮司中川清氏、



中川清氏と横井孫一氏

- 八月二十六日 京都雅楽会講師 横井孫一氏参拝
- 九月九日 西諸郡神職総代会参拝
- 九月九日 石川県白山神社 宮司山下昭四郎氏他参拝
- 十月二日 全国都道府県東京事務所々長約五十名参拝
- 十月四日 島根県観光課事務局長小田川耕造氏他参拝

研修を

終えて

岩切 忠巳

宮崎県の南部国定公園日南海岸の風光明媚な所に、御鎮座されておられる鵜戸神宮において、八月五日より九月二十九日まで、約二ヶ月間、研修を受けましたので、その感想を述べたいと思います。

まず、研修を受ける様になった経過について、父岩切栄信の死後、十日祭の時延岡支部長那須日出夫さんより、今後のことが話し合われ、後継者として、推薦するので、勤務地に近い鵜戸神宮で一ヶ月程研修を受け、宮司の資格を取ってもらいたい、とのことであった。私としてはそう長期間休暇を取ることはできないと答えていたが、五十日祭の時、勤務時間に差し支えない程度でよいとのことでしたので、それでは、という事で研修を受けるようになった次第です。

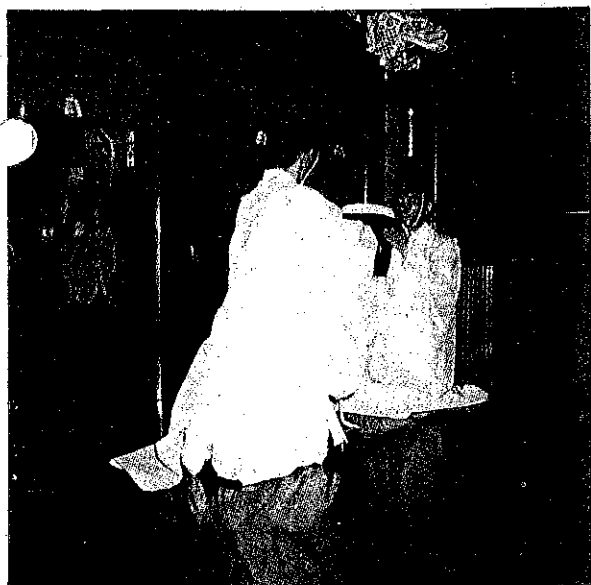
七月三十一日午後六時頃鵜戸神宮社務所に伺い、その旨を話し、必要書類等の不備を整え、八月五日再度伺い、ようやく実習生として研修を受けられる様になり、決意を新たに、神職への第一歩だと、自分に言い聞かせました。

研修を受けるに、先ず、朝御饌及びその他の祭式、車抜等を実地に教えていただき、又、国定公園指定三十周年祈願祭の習礼を、宮司様の許可を得て、本殿で見学できましたことを厚く

御礼申し上げたいと思ひます。

特に、献饌の時、伝供の神職の方々の姿勢、着座する時までの揃い方は、私が時々助勤としていた祭典とは、比較すべきもなく、規模ともに格段の相違があるように思われました。又、雅楽等も、延岡地方の祭典のものとは相違している様に感じ、これが本来のものかと思つた次第でした。

神饌にしても、毎朝毎朝新鮮なものを取りかえておられます。私の奉仕してい



伝 供

る神社では、二・三日または、四・五日としておりますが、私が帰った時には改めたいと思つております。扱て、鵜戸神宮に勤めておられる神職の方々は、宮崎県の神職の指導的立場の方々ばかりで、懇切丁寧に指導していただき、また巫子の方々は、鵜戸神宮に奉仕されるだけあって、礼儀正しく必ず声を出し挨拶されます。社務所でも、社頭でも、大変教育が行き届いているように思われました。最後に、私事で恐縮ですが、私が直階の講習を約一ヶ月受けて帰って間もなくより、父栄信が自分が昭和十年頃、この鵜戸神宮に、三・四年奉仕していた時の話を、度々聞いたことがあります。岩場で夜、魚、海老等を取った事など、その同じ鵜戸神宮で、私が短期間ではありましたが、研修を受ける事ができました。親子二代にわたって、このことが、私が日南市に勤務している期間に実現し、またとなない機会だった様な気がしてなりません。厚く御礼申し上げます。感想、二致します。

編集後記

あつという間に師走が去り、新しい年がやってきました。去年は「トラ」フィーバーで明け暮れました。ペナントレースは楽々と逃げ切り、日本シリーズも勝ち取り、応援合戦でも段違いの優勝でした。タイガースファンの方はほんとうの美酒を味われたことでしょう。

ところで今年は真正正銘の寅年です。タイガースにとっては正念場の迎える年になりました。どんな戦いぶりを見せてくれるでしょうか。

当日南地方には毎年カーブがやってきます。そして必ず当宮に於て必勝を祈願致します。阿南新監督を迎えた今年は何とか一矢を報いてもらいたいものです。いよいよ二月より野球シーズン幕明けです。どうなることやら楽しみです。皆様と一緒にペナントの行方を見守りたいと思ひますと共に、氏子崇敬者の方々には今年も佳き年で有りませ様に心より御祈念申し上げます。(谷口)